

**おいらせ町男女共同参画推進会議 会議録**

日 時	令和5年8月17日（木） 14時00分～15時35分			
場 所	おいらせ町役場本庁舎2階 庁議室			
出席者	役職	所属団体	氏名	出欠
	会長	NPO 法人青森県男女共同参画研究所 顧問	田中 弘子	○
	副会長	青森県立百石高等学校 校長	志村 博	○
	委員	おいらせ町人権擁護委員会 委員	柏崎 尚生	○
	委員	社会福祉協議会 事務局長	下田 和樹	○
	委員	おいらせ町保育会 会長	倉舘 広美	○
	委員	おいらせ町連合 PTA 会長	成田 聖徳	○
	委員	おいらせ町連合町内会 副会長	藤ヶ森 利昭	○
	委員	おいらせ町商工会女性部 副部長	天間 財子	○
	委員	十和田おいらせ農業協同組合 ももいし支店長	小向 武仁	○
事務局	柏崎 勝徳 課長	○	川原 真栄子 補佐	○
(政策推進課)	三橋 詩音 主事	×		

会議概要

-修礼-

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 町長挨拶

お忙しい中、男女共同参画推進会議委員を引き受けていただき、ありがとうございます。昔は、男が肉体労働という部分が多く、男女共同というのは、あまりなかったです。今では、あらゆる産業が発展し、女性が活躍できるようになっていると思います。事務仕事でも、女性も男性も同じような能力があると思います。いろんな部分で男女共同参画が進んできております。役場内では、男性の育児休暇を取得できるようになり、女性にも負担がないようになってきたと思います。議員では、長い間、2人の女性の議員が在籍しております。これは、ほかの所と比較すると、男女参画が進んでいると思います。ただ、町や町内会のイベントを見ると、女性あるいは男性が積極的に参加しているものが分かれていると思います。無意識にそれぞれが選別しているのではないかと思います。このような考えを変えていけるような提案又は意見をこの会議で審議していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

#### 4. 委員の紹介

#### 5. 組織会

##### (1) 会長・副会長の選任について

※事務局案を提案

◇事務局案のとおり決定

会 長：田中 弘子                      副会長：志村 博

##### (会長就任挨拶)

皆様におかれましては、「男女共同参画」というのは、耳慣れない若しくは聞きなれないと思います。男性、女性お互いに生きやすい、働きやすい社会に、さらに、将来の子供たちにとって大事なこととなりますので、私の経験を含めながら進行していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 6. 案件

##### (1) おいらせ町男女共同参画プラン策定方針について

※事務局より資料の説明

委 員：意見ではないが、委員の女性の比率として、庁内委員会に1人、推進会議委員に2人で少ないと感じます。ただ、比率を半分半分であればいいというものではないのも理解します。やはり、意見を入れるのであれば、ある程度の比率は入れた方がいいと思っております。

事務局：各所管課で業務を担当している職員を推薦していただいた結果、男性の比率が多くなっております。男女共同参画の会議ですので、やはり、女性が多い方がいいと思っておりますが、各課の業務体制にもよるところがありますので、やむを得ないと思っております。各委員の皆様の所属の所にも推薦をお願いしたところ女性が2人ということになり、こちらに関しても、やむを得ないと思っております。

会 長：次回、推薦を依頼する際は、何か条件を付けてもいいと思っております。そうすることで、自然と女性の比率が多くなるのではないかと思います。

##### (2) 策定作業スケジュールについて

※事務局より資料の説明

会 長：第4次男女共同推進会議（予備）とありますが、これは、必ずしもやらなくてもいいということですか。

事務局：第3回の委員会で終わることができれば、無しになりますが、パブリックコメントで町民から意見があれば、委員会で協議したいと考えております。

**(3) 第4次おいらせ町男女共同参画プランの基本的な考え方について**

※事務局より資料の説明

質疑なし

**(4) 第3次おいらせ町男女共同参画プラン成果目標の達成状況について**

※事務局より資料の説明

委員：アンケートですが、スマホやパソコンからでもできますか。それとも紙媒体のみですか。

事務局：令和5年2月に行いましたが、紙媒体のみで行っています。

委員：オンライン回答があれば、スマホやパソコン使える若い人たちを中心に回答いただけるのではないかと思います。予算の関係もあるかもしれないが、回答者にプレゼントがあればさらに、回答をいただけると思います。

事務局：アンケート結果の方に、年代別を載せていますが、ご指摘のとおり、若い世代の人の回答が少なかったです。アンケートを送付する前に、オンライン回答という案がありましたが、年齢層が上がると、回答が難しく、回収率が低くなるのではないかという判断で、今回は紙媒体で行っています。ただ、回答方法も時代に合わせるように取組んでいきたいと思っています。

会長：今の時代は、スマホがとても便利になっていますので、回収率は増えると思います。

**(5) 男女共同参画に関するアンケート結果について**

※事務局より資料の説明

副会長：第3次プランの自己評価はどのようにしていますか。そして、第4次を作成するにあたって、第3次でできなかったのは、持ち越して、できたものについては、新たなものになるのですか。

事務局：ピンク色の冊子の6, 7ページに計画の体系ということで、見開きを作っています。内容につきましては、具体的な事業のイメージの欄で、それぞれの項目ごとにやっています。現在、各課に4年度に取組ができたのかどうかについての評価する機会を設けています。こちらにつきましては、次回の会議までに結果をお示しして、反映したような業務ができたのかを評価をしたと思います。できなかったものは持ち越しになり、できたものに関しましては、プラスで進めていくものになると思います。プランの素案については庁内の検討委員で、作っ

た上で、次回のこの会員の中の皆様に審議をしていただくという段取りで考えております。

副会長：おいらせ町は、住みやすい町ということもあり、子育て世代の方たちが住み始めて、人口も増えてきていると思います。そこで、町が今こんなことやっているというのを町内また、町外にアピールし、住みやすい町の中の一つとして、男女共同参画が入っているというのが、いいと思います。小さい子供たちでも男女の活躍の場をしっかりと出してあげる環境づくりがあればいいと思いますし、ボランティア活動の推進を支援していけるようにしたいです。

会 長：活躍の場において、お互いを否定しあうものではなくて、それよりも向上させるためにどうすればいいかを前向きに考えていければと思います。

委 員：ワークライフバランスを重視して、仕事と生活の調和となると無駄な業務・作業を無くすということで、プランについては、参考資料などはQRコードにして冊子を薄くし、印刷を少なくする。またアンケートの回答とかはすべてQRコードにしてもいいかと思います。そうすることで、担当者の負担がなくなると思います。

委 員：私の職場では、ほとんどが女性なので、子育てしながら仕事をしている方がほとんどです。ほかの所にお子さんを預けて仕事に来ているので、もし、お子さんが熱を出したとかで、急遽休みになると、その日が人員不足になってしまいます。そうならないためにも人員を確保したいが、経営的なことを考えると、とてもではないが厳しいです。一人一人が遠慮をしないで、休暇をとれるようにしたいです。

委 員：PTAは、ほとんどがお母さん方で活動をしています。副会長や会長はお父さんの方がやっているように思います。

委 員：町内会から見ると女性の場合、委員会の委員にはなるが、役員となれば手が挙がらなくなっています。そういう人たちが結構いると思われれます。

会 長：今の若い人たちは、積極的に前に出ていく時代を経験する機会がなかったというのがあるといます。女性の方が町内会長をやるとまた変わってくるのではないかと思います。

会 長：商工会の中では、会長・副会長に女性になるということはあまりないのでしょうか。

委 員：商工会では、会長・副会長は男性です。商工会の中で、女性の会というのがありまして、32名程います。活動的には、お祭りの出店などで活躍するような形で、女性部を形成していま

す。

会 長：女性部の会長が副会長になるという組織付けはないですか。

委 員：ないように思います。

会 長：組織を作っていくというのが大事だと思います。作らないと女性はなかなか上にいこうとしないので、上にあがらせるためにどうしたらよいかということも必要かと思います。

委 員：農業の仕事では、男性が仕切ってやっています。ただ、人材派遣から雇用してきている人はほとんどが女性です。やはり、手間かかる仕事は女性が、機械で作業するのは男性がやる形になっています。女性も男性と同じ現場となってもやれるかとなると難しいと思います。畑仕事をして思うのが、トイレの確保です。昔と違って、畑仕事の際にもトイレを用意し、働きやすい環境を作らなければならないと感じます。

会 長：人権擁護委員会の方では、何かありますでしょうか。

委 員：もう少しで、70になるので、高齢者の意見になります。生まれてから、男性の役割、女性の役割というのが染みついているので、今更、男女共同参画となると何だろうかと思えます。男女共同参画というよりも、自分の身近な家庭や地域を考えていけば、おのずと答えが出ると思えます。自分が育ってきた時と違うので、環境にも目を向けた方が大事だと思います。

会 長：私も福祉をやってきて、人権が一番の問題でした。男女共同参画というのが先行していますが、基本的には人としての権利をどう守っていくのが基本になっていると思えます。

会 長：皆様、意見ありがとうございます。今後とも忌憚のないご意見を話し合っ、実際に結びつくような基本計画にしていけば、この会が有意義な会になると思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：会長並びに委員の皆様、大変ありがとうございました。

## 7. その他

事務局：次回の会議につきまして、10月の中旬から下旬を予定しております。また、皆様から日程調整をさせていただきますので、よろしくようお願いいたします。

8. 閉会

-修礼-